



岩倉市 かがよひ食堂

子ども食堂新規開設のご相談、励まし、激励、愚痴聴きも
～誰でもどうぞ！子どもも大人もみんなの居場所～

今回は、かがよひ食堂の村上太志様にお話を伺いました。

かがよひ食堂は、主催者の「私のところで子ども食堂を開くことができるのではないか」という思いに有志の方が集まったことがきっかけで、2016年から活動を開始しました。月に1回、多世代が集まりコミュニケーションを楽しむ場として、多くの方が参加されています。



かがよひ食堂では、毎月第4土曜日に子ども食堂を開催し、フードパントリーや絵本の読み聞かせも行っています。食事をする以外にも子どもは走って遊んだり、大人はお喋りを楽しんだり、思い思いの時間を過ごしているそうです。

ボランティアスタッフとして、高校生から50代の方まで約7名が参加しています。学生や20代の方は社会勉強を兼ねて、30代から50代の方は子ども食堂での活動が楽しくて継続しています。

食堂を運営する上で大切にしていることは、「誰の意見でも耳を傾け、話し合うこと」だそうです。新しい事にも日々取り組まれていて、最近ではテーマソング「かがよひ食堂のうた」が完成しました。



「ここは飲める子ども食堂なんだわぁ。」

夕陽が街を優しく染め、その光が食堂に差し込む。大人たちは静かにグラスを傾け、子供たちは笑顔で遊ぶ。テーブルには地域の絆が詰まっていて、そこに流れる時間は特別なものだ。飲める子ども食堂とは、単なる場所ではなく、心の交流の場なのだ。

調理された料理は、愛情と思いがたっぷり詰まっている。それを口に運ぶ瞬間、子供たちは未来への夢を膨らませる。大人たちの談笑と笑い声が、空気に溶け込んで一つの調和を奏でている。ここでの晩酌は、単なる飲み物の時間ではなく心の交流と共有の儀式となっている。

飲める子ども食堂の魅力は、一体感と包容力にある。年齢や立場を超え、誰もが同じ空間で幸せなひと時を共有できる。

困難な状況にある参加者も居るかもしれない、しかし、この食堂は彼らにとって安らぎと支えの場となっている。子供たちは笑顔で遊び、大人たちは悩みを分かち合いながら、お互いに力を与え合っているのだ。

(かがよひ食堂 村上)



【かがよひ食堂】

場 所：岩倉市昭和町一丁目23 おさや糸店 2階 コミュニティカフェかがよひ

開催日：毎月第4土曜日 17:00～19:00

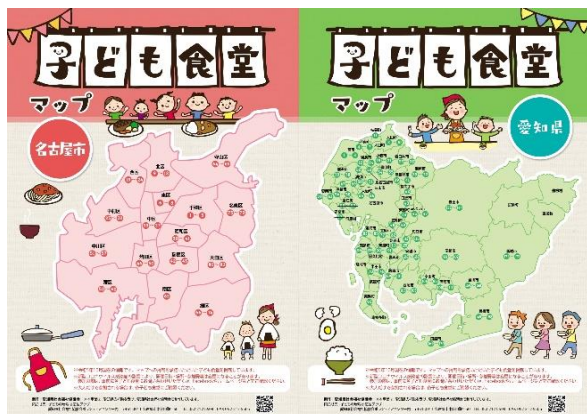
対象者：どなたでも 子ども0円 大人300円（差し入れ持ち込みの場合は0円）

連絡先：090-6694-3275 村上太志

ホームページ：<https://sites.google.com/view/kagayohisyokudou/>



2023年度版 愛知県・名古屋市 子ども食堂マップが完成しました！



「子ども食堂マップ」(2023年度版)が完成しました。このマップは、愛知県の補助を受け、愛知県社会福祉協議会が制作したものです。

マップには、2023年度9月現在で、愛知県内で活動している子ども食堂のうち、ご承諾いただいた255ヶ所(愛知県172件、名古屋市83件)の子ども食堂が掲載されています。

今年度は、昨年より掲載件数が24件増えました。
是非ご活用ください！

△2023版愛知県・名古屋市子ども食堂マップ

愛知県社協ボランティアセンターのホームページに掲載中です！

※詳細はQRコードより、愛知県社会福祉協議会ボランティアセンターの子どもの居場所応援プラザのホームページにアクセスしてご覧ください。



※マップ作成後に追加、追記、変更があった場合は、「子ども食堂マップ追補」として、ホームページに掲載いたします。その際は、ボランティアセンターホームページより情報提供用紙をダウンロードしてご提出ください。http://aichivc.jp/volunteer/ouenplaza/children_dining.html



研修会実施のご報告 ～ 令和5年度支援対象児童セミナー～

3月5日(火) 13:30～15:20 オンラインにて開催



支援が必要な子どもたちの特徴や、そうした子どもたちを支援する方法を学ぶことを目的に毎年開催しているセミナーですが、今年度は「子どもの貧困」に焦点を当てました。これから子ども食堂を始める方、既に活動している方、支援をする立場の方など、合計35名の方にご参加いただきました。

日本福祉大学 社会福祉学部 准教授の中村様を講師に迎え、「子どもの貧困」の定義や日本が抱える課題、愛知県の貧困率に始まり、子ども食堂の役割の重要性や私たちができることは何かをご説明いただきました。"日本は政策によって貧困が拡大する国"という衝撃の事実を知り、子どもたちの未来のために行動する大切さを学びました。

続いての事例報告では、弥富市でじゅうしやまこども食堂を運営されているNPO法人はぐくみ代表の山洞様に、「子ども食堂における貧困支援と居場所作り」についてお話をいただきました。助成金の支給を受けるまでの道のりや、行政機関や社会福祉協議会及び食糧支援中間団体との連携の重要性、幅広い活動を通して子どもを支援する熱い思いに、参加者からは「とても刺激を受けた」との感想をいただきました。

お忙しい中、ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！

子どもの居場所
応援プラザ
問合せ先

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター内

TEL:052-212-5504

FAX: 052-212-5505

Eメール: info@aichivc.jp

HP: <http://aichivc.jp/>

〒461-0011 名古屋市東区白壁1-50愛知県社会福祉会館2階

社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会



情報提供待ってます♪